



YAIZU CITY NEWS RELEASE

「人生会議」を見つめ直す講演会 ～「最期まで自宅で自分らしく過ごす」を共に考える～

焼津市では、認知症や身寄りのない高齢者が増加する中、「人生の最期にどのような医療やケアを受けたいか（人生会議）」を事前に考える機会となるよう、「在宅医療市民啓発講演会」を開催します。

■在宅医療市民啓発講演会

人生の「もしも」の時に備え、自分が望む医療やケアについてあらかじめ考え、家族や医療・介護関係者と話し合っ共有する『人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）』をテーマに、在宅ホスピス医の遠藤博之氏にご講演いただきます。最期まで自宅で自分らしく過ごすために、私たちが事前にできることについて一緒に考える機会とします。

また、来場された方には、市が独自に作成した「ことのはノート（人生会議ノート）」を配布します。

日時 10月4日（日） 午後1時30分～3時（開場：午後1時）

会場 総合福祉会館「ウェルシップやいづ」多目的ホール（大覚寺3-2-2）

内容 基調講演『本当に大切なものを求めて』

講師：遠藤博之（えんどう ひろゆき）氏（たんぽぽ診療所院長）

参加無料 定員 100人

共催 焼津市、焼津市医師会

【講師プロフィール】

1964年生まれ、清水市（現静岡市）出身。山梨医科大学卒業後、静岡済生会総合病院にて研修。その後、腎臓内科医長、緩和診療科科長を勤める。この間に「緩和ケア研究会」を主催し、「やさしさを追求する医療」を目指す。2006年にたんぽぽ診療所を開設。



【参考】ことのはノート（人生会議ノート）とは

「最期まで自宅で自分らしく過ごす」ことを市民の皆さんに考えていただき、自分の意向等を整理していただくきっかけとなるよう、市が作成し配布しているノートです。

問合先

焼津市健康福祉部 高齢者福祉課 地域包括ケア推進担当 峰澤
TEL054-626-1219 FAX054-621-0034